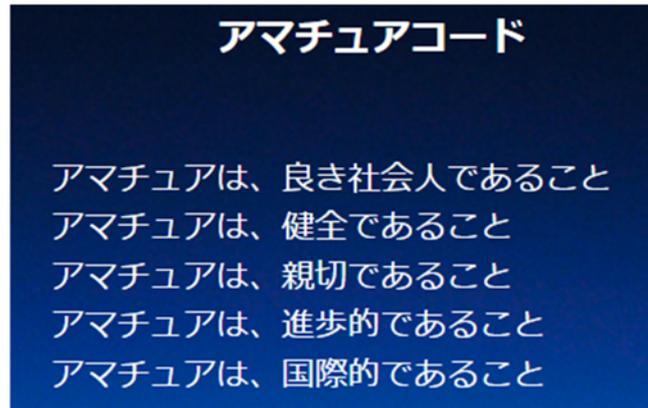


海外との交信の楽しみ

JA8EJZ 齊藤 一雄

アマチュア無線の世界では、遠距離のことをDX(Distance の略)と呼び、海外局などの距離の局との交信をDX通信と呼んでいます。

JARL(日本アマチュア無線連盟)のアマチュアコードには「1・アマチュアは国際的であること」と、あります。海外局とのアマチュア無線による交信は、国際親善をになう一翼になっています。短波帯(3MHz~30MHzZ)を主に聞こえる海外局との交信は楽しいものです。しかし、もっと楽しく長続きするには、何か目標を持つ事も良い方法だと思います。



アマチュアコード JARL ホームページより

目標の1つとして、アワード取得を目指すこと

アマチュア無線におけるアワードとは、交信・傍受したアマチュア局が、交信した地域や局数など一定の条件を満たした場合に交付される証明書・認定書です。

一つのアワードとして、

JARL(日本アマチュア無線連盟)でも、DXに関連したアワードを発行しています。それは、ADXAと言われるものです。条件は、アジア州内の日本を含む30エンティティとの交信または傍受でQSLを得ること。ADXA-HALF 半分の15エンティティと言うのもあります。エンティティとは、ITU(国際電気通信連合)が配分されている国際呼出符号を元に設定された、国や地域で 世界340が存在します。



JADXA アワード JARL ホームページより

日本の場合は3つ設定されています。1・国内及び近郊 2・小笠原諸島 3・南鳥島南鳥島はオセアニアに属しますが。アジア州のエンティティは 56箇所 程あります。

最初に近くの外国局(中国、韓国、ベトナム、インドネシア等々)との QSO ができると DX の楽しさが広がりワクワク感も高まり、今度はもっと遠くと交信して見ようと思う様になります。さらにはちょっと難しいけれど何とか世界の 6 大陸との交信ができないだろうか?と夢はどんどん広がります。その夢の結果が 6 大陸交信賞(Worked All Continents)です。

世界中が競っているアワードは DXCC と言われるもので世界の全エンティティ 340 の交信を目指しています。取得状況は公開されており、世界中のアマチュアア局が競っているのです。



6大陸交信証 AARL ホームページより

DXSCAPE Web cluster www.dxscape.com/index.html の上段 DXCC ranking サイトで公開されていますし、DXCC ranking でも検索出来ます。

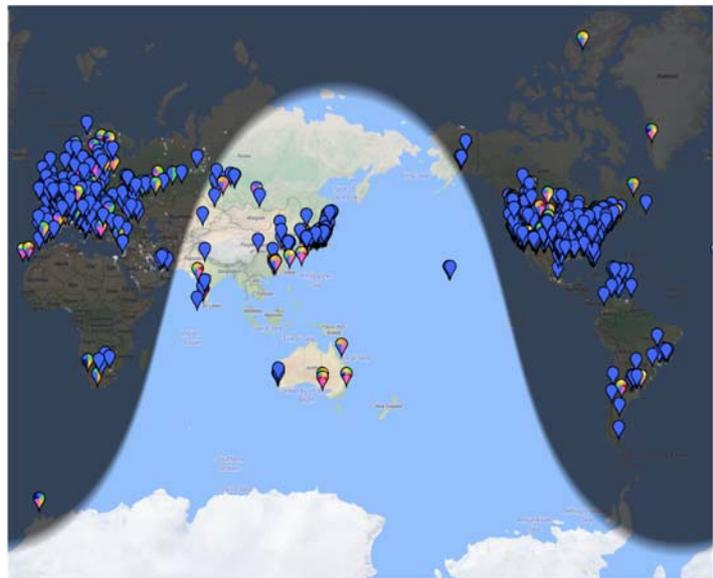
DXCC ランキングに自分のコールサインを登録するには、DXセンチュリークラブの会員になる必要があります。会員になる一番簡単な方法は JARL の DXCC フィールドチェックを利用する事です。JARL へ QSL と申請書を送ると、チェックして ARRL へ送付してくれます。

DXCC100 を超えると会員となり、世界ランキングの仲間入りとなるのです。

自分の電波状況の確認

Display Reception Reports を使うと、デジタル電波で送信した場合、自分の電波状況が世界地図上で確認が出来ます。

..自分の電波が巧く飛んでいない場合は省エネのため、送信を中止しましょう!..



Display Reception Reports の画面 (一例)
<https://www.pskreporter.info/pskmap.html>

無線は一人孤独に運用するのも良いかも知れませんが、各局皆様と切磋琢磨し競いあい、公開されたランキング上位を求めて楽しめるのも良いかと思えます。

仲間数人とグループを組んで、「あそこに新局が聞こえる」とか「あそこをやった」とか連絡を取りながら DXCCをつぶしていくのも楽しいかと思えます。

是非、皆様も 海外通信にチャレンジをしてみてください。